

免許状教科	中学校 1 種（社会）・高等学校 1 種（地理歴史・公民・商業）		
科目名	教育実習の指導	科目分類	教職科目
			経済学科 <input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	Guidance for Teaching Practice	開講年次	<input type="checkbox"/> 1 年 <input type="checkbox"/> 2 年 <input checked="" type="checkbox"/> 3 年 <input type="checkbox"/> 4 年
		開講期間	<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
ふりがな	いちほら みつまさ	修得単位	1 単位
担当者名	市 原 光 匡	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面のみ <input type="checkbox"/> 遠隔のみ <input type="checkbox"/> 対面・遠隔併用
授業のテーマ	教育実習の流れ・手続きをふまえ、指導案を作成する。		
到達目標	教育実習を見すえ、その流れ・手続きについて解説していく。また、実践的な内容として、指導案の作成と生徒の理解や問題行動への対処についても課題として取りあげる。		
授業概要	1. 教育実習に必要な指導案が適切に作成できること。 2. 教員の社会的使命と責任について理解し、説明できること。		
授業計画			
第 1 回	ガイダンス（教育実習の概要）		
第 2 回	教育実習の体験談		
第 3 回	指導案の作り方		
第 4 回	指導案の検討		
第 5 回	指導案の発表・報告		
第 6 回	生徒理解の方法		
第 7 回	問題行動への対応		
第 8 回	教育実習の手続き		
第 9 回	定期試験		
授業時間外の学習	近年の教育をめぐる諸問題について、事前に調べ自分なりに考えをもっておくこと。また、学習指導案についてもあらかじめ用意し、発表・報告に備えること（1.5 時間程度）。授業で取りあげたことがらについては、その都度ふりかえるようにすること（1.5 時間程度）。		
履修条件 受講のルール	次年度に教育実習を行う学生を対象とする。		
テキスト	小山茂喜〔編著〕『新版 教育実習安心ハンドブック』学事出版，2014		
参考文献・資料	必要に応じて授業中に適宜指示する。		
成績評価の方法	平常点 30%、課題 30%、定期試験 40%の比率で評価する。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができない。		
オフィスアワー	毎週火・木曜日 13:00～14:30		
成績評価の基準	秀（100～90 点）、優（89～80 点）、良（79～70 点）、可（69～60 点）、不可（59 点以下）		
学生への メッセージ	教育実習をおこなうという自覚のもと、取り組むこと。無断欠席・遅刻は一切認めない。		